

4月28日(夜間例会)「創立60周年記念事業実行計画について」

60周年記念行事実行委員会 田中敏夫委員長他

4月28日は日本のロータリーの父、米山梅吉翁の命日です。1946年(昭和21年)4月28日米山梅吉永眠、没後70年郷里の長泉村の別荘で死去78歳でした。翌年1月27日シカゴにてポールハリス・ハリス永眠78歳でした。二人とも1868年(明治元年)生まれでした。5月5日は新川市まつり中津瀬神社は通称「水神さま」とも呼ばれ市民の皆さんに親しまれています。創建は215年前の江戸時代享和元年(1801年)江戸幕府約200年。1868年(慶応4年・明治元年)の67年前。遠山の金さん暴れん坊将軍・吉宗とかが活躍していた頃でしょうか。その頃の宇部の一帯は度重なる水害にみまわれていました。時の領主・福原房純の家臣・村上清右衛門純明は東流の塩田川と西流の真締川の合流域に堤防を築き(樋の口)川の流れを南方の海へと注ぐ一大土木事業を行った(新川)。これにより豊かな農地へと一新しました。真締川の氾濫による水害・被災を避ける守り神として真締川の左の岸に建てられました。現在の、ヒストリア宇部の場所ですね。昭和20年(1945)7月2日に戦災にあい常盤公園内の金比羅宮の社殿を譲り受けこれを移築されました(現在の社殿)。昭和25年(1950)稲成神社も当社地に奉齋されました(津和野太鼓谷稲荷)。平成13年(2001)御鎮座200年・式年祭が催行されました。此処のライオンの狛犬が珍しい、この狛犬は真締川に架けられた、大橋の欄干先端の彫像だったライオンが橋の撤去に際して真締川に縁がある、この神社に狛犬として奉納されたものとの事です。最近では中津瀬神社でお参りして井筒屋横の宝くじ売り場で宝くじを買うと大当ると言われておりパワースポットになっています。5日には今年で14回になる狐の嫁入り行列があります。日本各地に同じ様な行事があります。山口県下では下松市にもあり11月に収穫祭と共に行われています。宇部市の松濤神社も狐の嫁入り行列をしています、子供の狐の嫁入り行列があります。特に有名な狐の嫁入り行列は、宇部の狐の嫁入り行列の参考にもなった新潟県・東蒲原郡・阿賀町・津川地区で毎年5月3日に開催される祭です。この地域の「嫁入り」は夕方から夜にかけて行われます。この行列が峠を越えて船に乗ってお山に帰るその時、堤灯の明りと狐火が平行して見えたりするそうです。大変、幻想的な狐の嫁入り行列です。この日、津川地区の人口5,000人に対し5万人にも及ぶ観光客が訪れています。宇部の狐の嫁入り行列の花嫁さんは昼12時、中津瀬神社出発し新天町アーケードを通り中央バス停の所の出会いの広場で花婿さんと合流します。その後、中津瀬神社に戻り結婚式を行い新店町アーケード内の特設ステージで結婚披露宴がおこなわれます。宇部の狐の嫁入り行列の見どころは公開結婚式とその行列の華やかさと新店町のアーケードの中で行われる結婚披露宴での、お祝い水神太鼓です。水神太鼓から水神様のご神水が吹きあがる迫力満点の太鼓が見ものです。狐の嫁入り行列、最後の締めくくりのお祝い太鼓をぜひご覧下さい。米山梅吉翁の命日、中津瀬神社、宇部新川市まつり・狐の嫁入り行列についてお話をしました。